

震源インバージョンワークショップ

～多様なデータと解析手法で明らかにする「ほんとうの」震源像～

1. 開催日: 2024 年 7 月 25 日 (木)・26 日 (金)

2. 開催場所: 東京大学地震研究所 1 号館 2 階セミナー室 + Zoom 配信 (ハイブリッド開催)

3. 研究集会の概要

本研究集会『震源インバージョンワークショップ～多様なデータと解析手法で明らかにする「ほんとうの」震源像～』は、震源インバージョンに携わる若手研究者が中心に集い、おのおのが専門とするデータや手法により得られたインバージョン結果を持ち寄り、解析の違いに由来するモデルの違いやその不確実性、解析における留意点について議論し、地震の「震源像」を真に反映するモデルを得るための震源インバージョン解析戦略について模索する研究集会です。

4. 集会ウェブサイト: <https://rokuwaki.github.io/SIW/>

5. 謝辞: 本研究集会は、東京大学地震研究所共同利用 (2024-W-02) の援助を受けています。

6. 発表タイムテーブル (次ページ)

7. 口頭発表について

発表者はご自身のコンピュータで Zoom に入室していただき、Zoom にて発表画面を共有しながら、ご発表ください。Zoom 配信内容は配信トラブル等に備えバックアップ用に録画させていただきます。ただし録画した内容は公開せず、オンデマンド配信等も行いません。

8. ポスター発表について

発表方式は自由です。当日はポスターボード (A0 サイズを掲示できる大きさ・縦長) をご用意します。ラップトップ等を使った気軽な発表・議論も OK です。ポスター発表の Zoom 配信は行いません。

1 日目・2024 年 7 月 25 日 (木)

	13:30–13:40		opening
S01	13:40–14:10	八木勇治	高自由度震源過程モデルの課題とその解決方法
S02	14:10–14:40	森田寅靖	アジョイント法による震源イメージング及びメカニズム推定の試み
S03	14:40–15:10	岡崎智久	物理深層学習 PINN による地震時地殻変動の順解析
	15:10–15:30		休憩
S04	15:30–16:15	堀高峰 *	地震発生予測研究からみた「ほんとうの」震源像解明への期待
P01	16:20–17:30	福岡陸斗	物理深層学習を用いた長期的 SSE 発生域の摩擦パラメータ空間分布推定
P02	16:20–17:30	佐藤大祐	摩擦則で見る東北沖プレート境界の固着とその剥がれ (仮)
P03	16:20–17:30	久保久彦	津波波源データを用いた海域浅部地震の高解像度断層イメージング
P04	16:20–17:30	柴田律也	震源インバージョンにおける海底地震計活用の試み
P05	16:20–17:30	武村俊介	T 波を用いた娯婦海山周辺で発生した地震性イベントの震源深さの拘束
P06	16:20–17:30	縣亮一郎	南海トラフ域の 3 次元速度構造モデルに基づく Physics-informed neural network ベースの走時計算サロゲートモデル
P07	16:20–17:30	増田英敏	代理モデルを用いた津波堆積物のインバージョン解析：数値実験による検証
P08	16:20–17:30	岡崎智久	すべり逆解析における平滑性：Green 関数と PINN
P09	16:20–17:30	佐脇泰典	点群法線ベクトルを用いた震源クラスタリングによる令和 6 年能登半島地震の断層面形状抽出

2 日目・2024 年 7 月 26 日 (金)

S05	09:30–10:00	加藤愛太郎	令和 6 年能登半島地震にともなう地震活動の時空間発展
S06	10:00–10:30	奥脇亮	2024 年能登半島地震の震源過程: 複雑な断層ネットワークと前駆的群発地震活動との関係 (仮)
S07	10:30–11:00	山谷里奈	能登半島地震の余震の CMT 解析
	11:00–11:20		休憩
S08	11:20–11:50	西宮隆仁	複数の断層モデルを設定して行った能登半島地震の近地震源過程解析 (仮)
S09	11:50–12:20	友澤裕介	エンベロープインバージョンによる 2024 年能登半島地震の震源モデルの推定
	12:20–13:50		休憩
S10	13:50–14:20	小林広明	強震・遠地・測地データから推定した 2024 年能登半島地震の震源過程
S11	14:20–14:50	水谷歩	余震分布、GNSS 記録、および津波記録を用いた 2024 年能登半島地震の断層モデル推定
	14:50–15:00		休憩
	15:00–15:40		総合討論
	15:40–15:50		closing

S: 口頭発表、P: ポスター発表、*: 招待講演